

斎藤 凱さん（鳥取県伯耆町出身）
2015年度3次隊 青年海外協力隊
派遣国：カンボジア 職種：体育
2017年6月25日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

体育の授業をサポート

ニャムバーイナウ。
「ご飯食べた？」という意味のすてきなあいさつが飛び交う国、カンボジア。有名な観光地アンコールワットのある国といえば分かる人も多いだろう。年間平均気温28度と、一年中夏が続いているようだ。

私が住んでいるのは、首都プノンペンから北東約300㎞に位置するクラチェという街だ。ここでは、



マットを敷き、倒立の練習をする子供たち。体育の授業中は笑い声が響く

家から徒歩5分で日本の川とは比べものにならないほど壮大な運河、メコン川を眺めることができる。川に沈む夕日は非常にきれいで、それを見ながら食べるご飯は格別だ。

ゆったりとした時間が流れる一方、人々の朝は早く、大体朝6時くらいには大人も子どもも起床している。小学校は7時から1時間目が始まる。私はそんな地域の学校6校を巡回し、体育の先生として授業のお手伝いをしている。

現地の先生の中には、幼い時に体育を経験したことがない方が多い。体育の教え方がよく分からないという人が大半である。そこで、体育の教材を紹介し、先生方に実践してもらえるようにお手伝いするのが私の活動となっている。

休日には地域の子どもたち向けにサッカー教室を開いており、小学生から中学生までと一緒に、楽しく練習をしている。私が幼い時に比べても身体能力が高い子が多く、将来有望であると感じる。ここカンボジアでの活動も8カ月を切った。残り期間も子どもたちの将来のために体育を通して貢献したい。